

## 学校関係者評価

※ 評価Ⅲの基準

4:よく取り組んでおり、成果が大きい  
2:取り組んでいるが成果が十分でない

3:熱心に取り組んでおり、今後の期待できる  
1:取組が不十分である

学校関係者意見等	評価Ⅲ
<p>1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力を身につけさせる</p> <p>・読書をすることは学力向上につながるので、朝の読書タイムなどの取り組みを継続してもらいたい。 ・大人になると、読書をする機会が減るので、子どもの間に、毎日、本に触れて好きになってもらいたい。</p>	3.3
<p>2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る</p> <p>・Smile!の合い言葉はよい取り組みだ。 ・悩みを誰に言えばいいのかわかる環境づくりが大切である。 ・子どもは保護者など家族の大人の影響を強く受けるため、人への悪い評価や批判は、聞かせないようにしなければならない。例えば、担任に対して不満があるとき、子どもには知られないようにしながら、学校に言ってきてもらうよう伝えておくのがよい。</p>	3.3
<p>3 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組む</p> <p>・お代わり券は、子どもの楽しみになっているため、食べる意欲につながっている。 ・好き嫌いのある子どもにも少しでも食べることができるよう取り組みを進めてもらいたい。 ・給食試食会を全学年実施しているのは、とてもよい取り組みである。</p>	3.5
<p>4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る</p> <p>・現在の取り組みを継続して行っていくことが大切である。 ・川の危険について、継続した指導が重要である。</p>	3.3
<p>5 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活力に満ちた学校園づくりに取り組む</p> <p>・園田カーニバルは小学校の参加で盛り上がっていることが、予備日に実施した今年度よくわかった。(小学校の予備日の参加がなかったため)しかし、家庭の状況等を考えると、予備日が不参加となるのは仕方がない。</p>	3.3
<p>■教育目標</p> <p>・現在の目標や取り組みでよい。</p>	3.2
<p>■研究テーマ</p> <p>・よくがんばってもらっている。 ・「井の中の蛙」になってしまうよう校外研修することは、他からの刺激を受けることができ、とてもよいことである。そして、校内に還元することも必要である。 ・英語の日常化にむけて、決められた日には「Good morning」や「Hello」、「Goodbye」を使うなど、英語の日の設定をしても面白いのではないか。</p>	3.3
■	
<p>評価項目 (A:優れている B:適切である C:おおむね適切である D:要改善)</p>	評価Ⅳ
アンケート等、自己評価の根拠となる資料は適切か	B
自己評価の結果の内容は適切か	B
自己評価の結果を踏まえた今後の改善策は適切か	B